

令和9年度

博士前期課程

7月実施（推薦入学試験）

人文学学位プログラム 歴史・人類学サブプログラム

区分	出題意図または解答例
小論文 問題Ⅰ 〔1〕【英語】	（1）歴史学・人類学の基本的な概念に関する英語文献を的確に読解したうえで、その要旨を論理的に説明する能力を問う。 （2）上記文献の内容を踏まえたうえで、専門分野の知見に基づき、自身の考えを論理的な文章として表現する能力を問う。
〔2〕【日本語】	（一）歴史学・人類学の研究動向に関する日本語文献を的確に読解したうえで、指定された論点の要旨を論理的に説明する能力を問う。 （二）上記文献の内容を踏まえたうえで、専門分野の知見に基づき、具体的な事例を挙げながら、自身の考えを論理的な文章として表現する能力を問う。
問題Ⅱ 〔1〕【日本史学】	（1）出題文は、戦後日本、とくに1950年代の社会や学問に関わる動向を論じたものである。出題文の内容を、固有の歴史用語も含めて的確に理解し、著者の議論に即して要約できる能力が求められる。 （2）出題文を踏まえ、各人の問題関心について説明する力をみる。各自が研究対象とする時代（古代～近代）の研究史の蓄積について把握するだけでなく、広い視野から個別の関心領域を位置づけることが求められる。
〔2〕【東洋史学】	（1）東洋史学に関する英語文献を的確に読解したうえで、指定された論点に関する著者の主張を論理的に説明する能力を問う。 （2）上記文献で示される著者の主張を踏まえ、清朝の内陸アジア支配に関する自身の考えを論理的な文章として表現する能力を問う。
〔3〕【西洋史学（ヨーロッパ・アメリカ史）】	（1）闇夜の文化史に関する英語文献を的確に読解したうえで論理的な文章として表現する能力を問う。 （2）上記文献の内容に対して専門的な知見を活かして批判的な

	検討を加えたうえで、自身の考えを論理的な文章として表現する能力を問う。
〔４〕【西洋史学（アッシリア学・エジプト学）】	（１）古代社会における経済、とくに職人の専門化や生産活動に関する英語文献を的確に読解したうえで論理的な文章として表現する能力を問う。 （２）上記文献の内容に対して専門的な知見を活かして批判的な検討を加えたうえで、自身の考えを論理的な文章として表現する能力を問う。
〔５〕【歴史地理学】	（１）歴史地理学における GIS に関する知識にもとづいて、英語文献を的確に読解し、論理的な文章として説明する能力を問う。 （２）歴史地理学に関する研究課題について、英語文献の内容に関連づけて、論理的な文章として表現する能力を問う。
〔６〕【先史学・考古学】	（１）考古学に関する英語文献を読解したうえで、そのキーワードに関する定義を的確に理解し、説明する能力を問う。 （２）考古学に関する英語文献を読解したうえで、その内容について研究するための知識や方法を問う。また、それらによって明らかにされる過去の社会のあり方を具体的に論じる能力を問う。
〔７〕【民俗学】	（１）民俗学に関する英語文献を的確に読解したうえで、その内容を論理的な文章として要約する能力を問う。 （２）英語文献の内容を踏まえ、具体的な事例をあげながら、自身の研究アプローチを論理的な文章として表現する能力を問う。
〔８〕【文化人類学】	〔日本語・英語共通〕 （１）文化人類学に関する外国語文献を的確に読解したうえで、指定された論点について論理的に説明する能力を問う。 （２）上記文献の内容を踏まえて、個と集団、または人間と非人間の関係性についての自身の考えを論理的な文章として表現する能力を問う。

以上